

帯広市ヤングケアラーに関する アンケート調査結果

令和 8 年 1 月
帯広市市民福祉部こども福祉室
子育て支援課

目 次

1 調査概要

- (1) 目的
 - (2) 対象者
 - (3) 調査方法
 - (4) 調査実施期間
 - (5) 回収状況
-

2 調査結果

- (1) ヤングケアラーの認知度
 - (2) 通学状況
 - (3) お世話の有無
 - (4) お世話をしている家族
 - (5) お世話の内容
 - (6) お世話をしている理由
 - (7) お世話をすることについて感じる事
 - (8) お世話の負担が減るとしたらどう過ごしたいか
 - (9) 相談意思の有無
 - (10) 相談したくない理由
 - (11) 他に伝えたいこと
-

3 まとめ

- (1) ヤングケアラーの認知度
 - (2) 家庭において家族の介護や世話、家事等を日常的に行っている子どもの実態
 - (3) 家族の世話の状況
 - (4) 個別相談・支援を希望する回答の状況
 - (5) 今後の対応について
-

1 調査概要

(1) 目的

本調査は、家族の介護や世話をしていると回答した者について、世話の内容や困りごと等の実態を把握するとともに、支援を希望する場合には記名による回答を可能とし、個別相談や具体的な支援につなげることを目的として実施した。

(2) 対象者

高校生相当年齢（H19.4.2～H22.4.1 生まれ）の帯広市民（令和7年9月1日時点）

(3) 調査方法

Web調査 対象者本人宛に調査案内を郵送、個人の端末から回答。
保護者向け通知文を同封。

(4) 調査実施期間

令和7年11月1日（土）～令和7年11月30日（日）

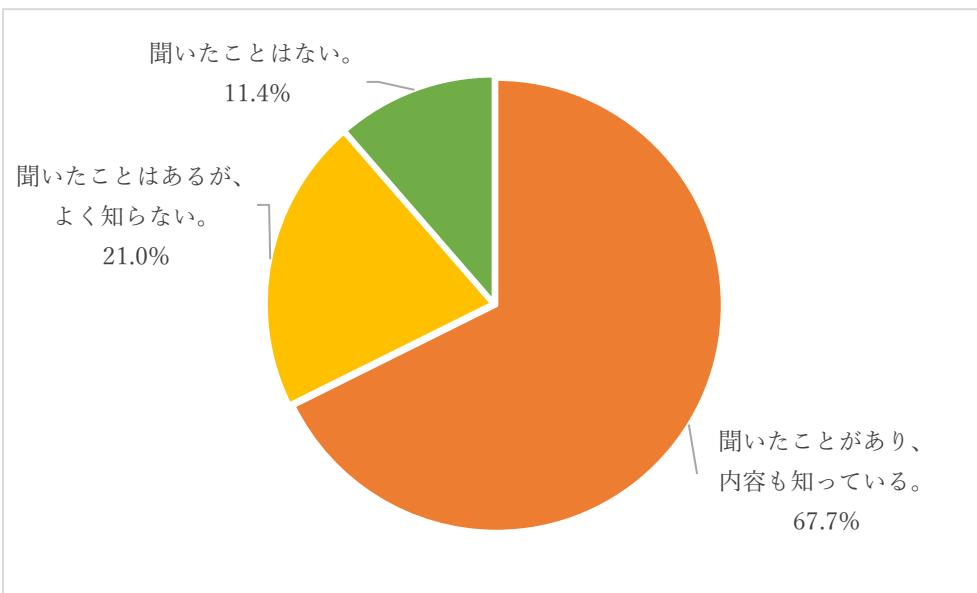
(5) 回収状況

発送数	回答数	回答率
3,994通	501通	12.5%

2 調査結果

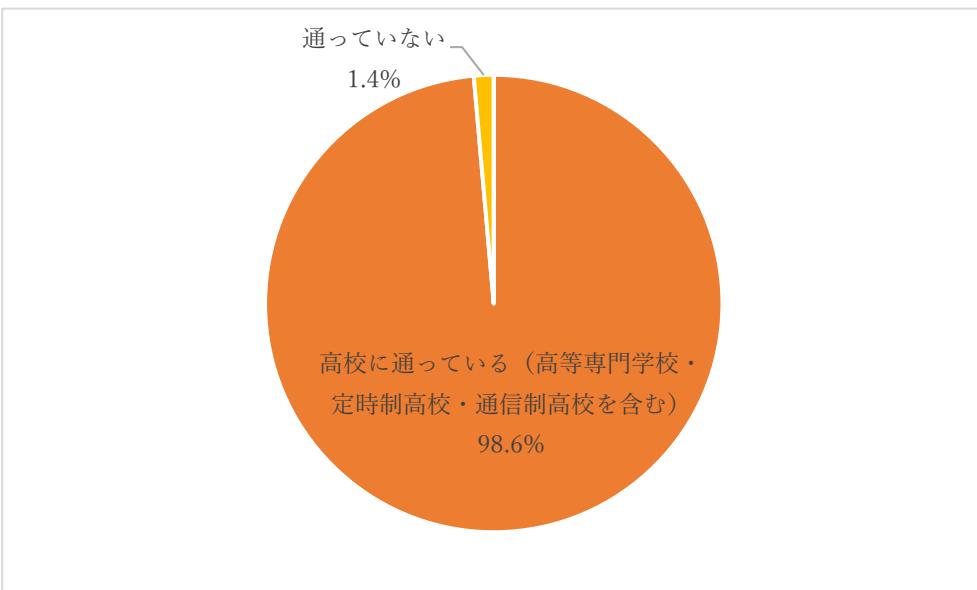
(1) 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。

聞いたことがあり、内容も知っている。	339
聞いたことはあるが、よく知らない。	105
聞いたことはない。	57



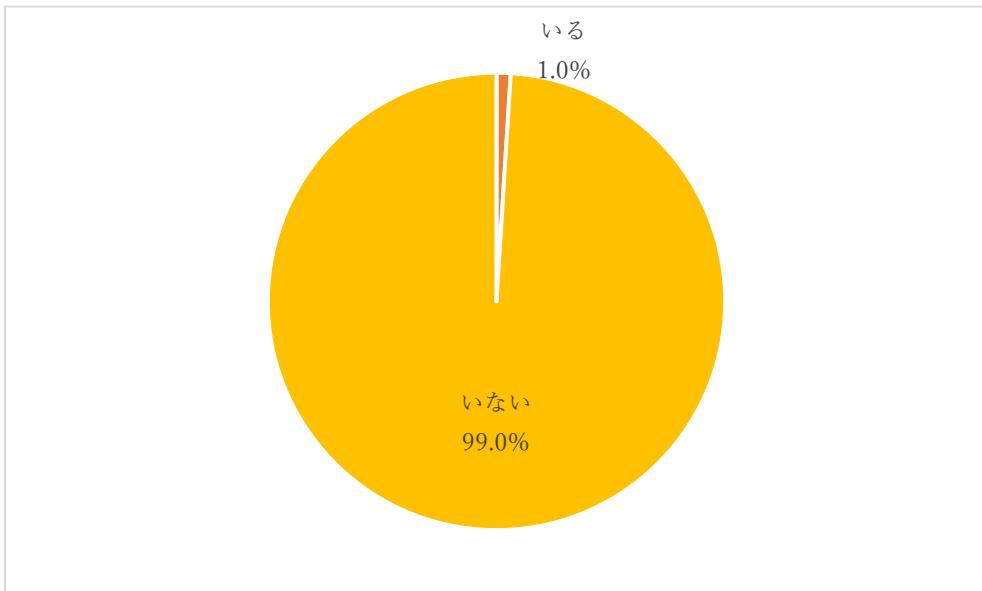
(2) 通学状況を教えてください。

高校に通っている（高等専門学校・定時制高校・通信制高校を含む）	494
通っていない	7
就職している	0



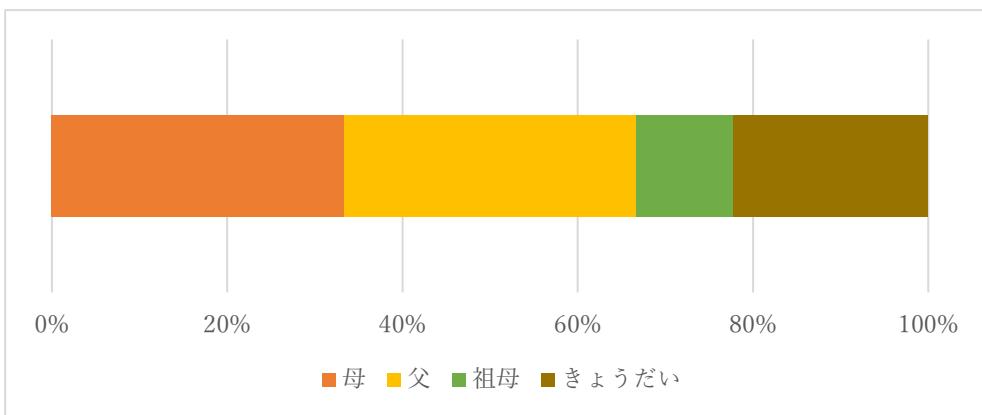
(3) 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。

いる	5
いない	496



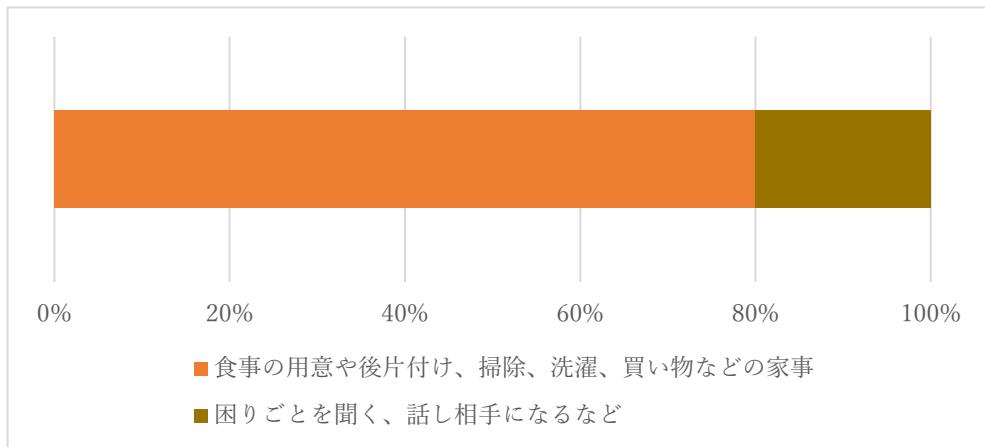
(4) 誰のお世話をしていますか。(複数回答)

母	3
父	3
祖母	1
祖父	0
きょうだい	2
その他	0



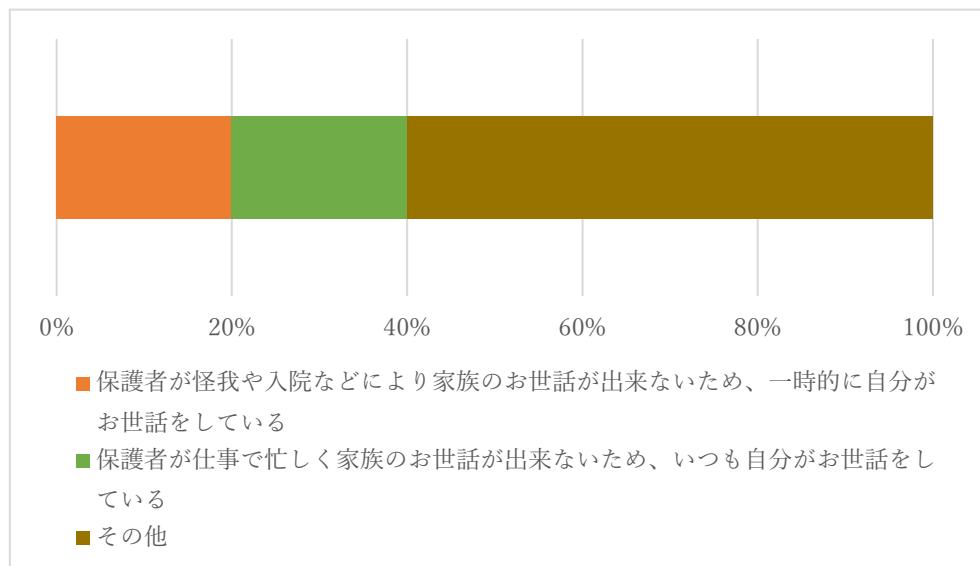
(5) どのようなお世話をしていますか。(複数回答)

食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物などの家事	4
きょうだいのお世話や保育園への送り迎え	0
着替えやお風呂、トイレの手伝いなど	0
病院や買い物、散歩などの外出の付き添い	0
困りごとを聞く、話し相手になるなど	1
転んだり、危ないことをしたりしないか見守る	0
通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳するなど）	0
家のお金の管理（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど）	0
薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりするなど	0
医療的ケア（たんの吸引、点滴の見守り、経管栄養の管理など）	0
家計のサポート（仕事やアルバイトをして家にお金を入れるなど）	0
その他	0



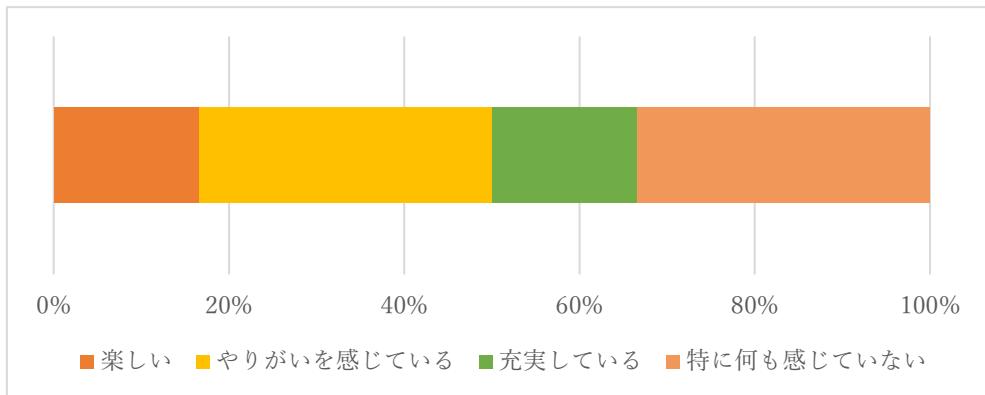
(6) あなたがお世話をしているのはなぜですか。

保護者が怪我や入院などにより家族のお世話が出来ないため、一時的に自分がお世話をしている	1
保護者に病気や障がいがあり家族の世話ができないため、いつも自分がお世話をしている。	0
保護者が仕事で忙しく家族のお世話が出来ないため、いつも自分がお世話をしている	1
保護者に働けない理由がある、またはひとり親家庭等で家計が苦しいため、自分が働いて家計のサポートをしている	0
その他	3



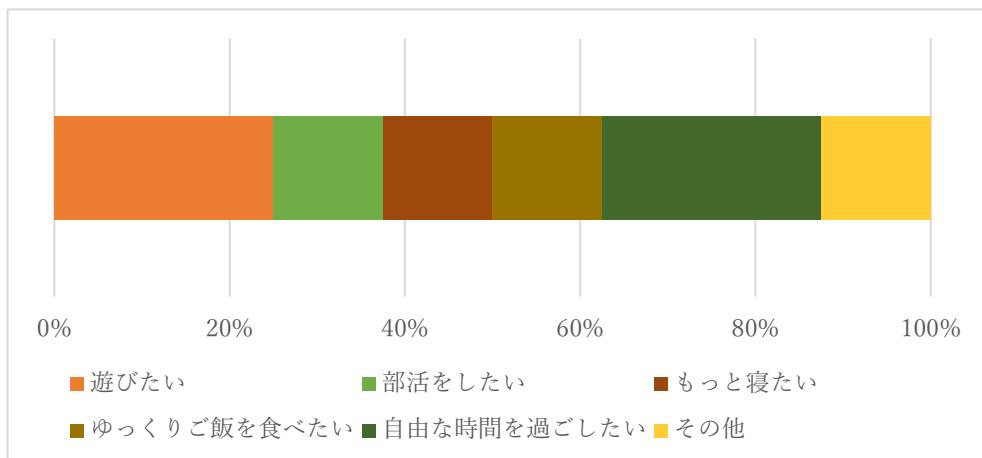
(7) お世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。(複数回答)

楽しい	1
やりがいを感じている	2
充実している	1
身体的につらい	0
精神的につらい	0
時間的余裕がない	0
特に何も感じていない	2
その他	0



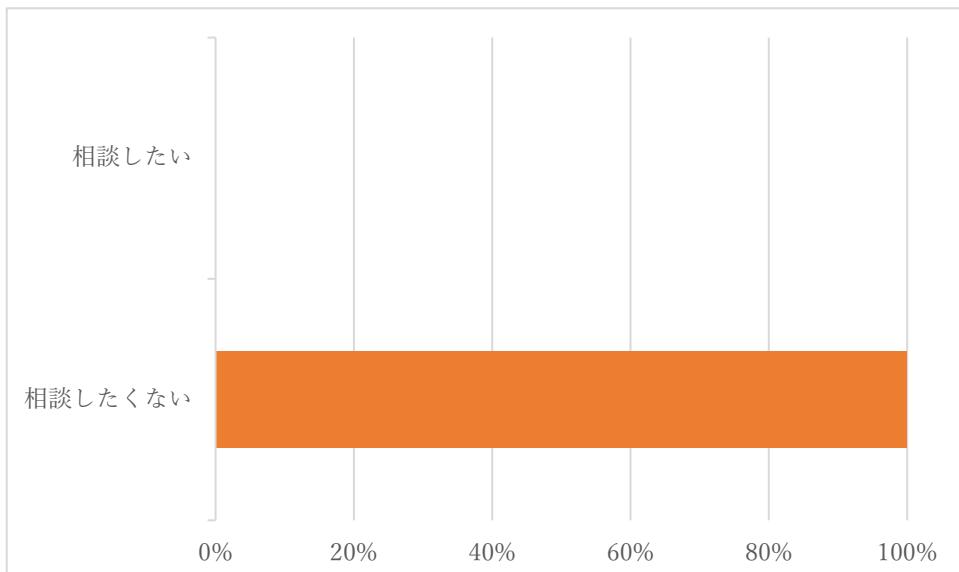
(8) お世話の負担が減るとしたらどう過ごしたいですか。(複数回答)

遊びたい	2
勉強したい	0
部活をしたい	1
もっと寝たい	1
ゆっくりご飯を食べたい	1
自由な時間過ごしたい	2
わからない	0
その他	1



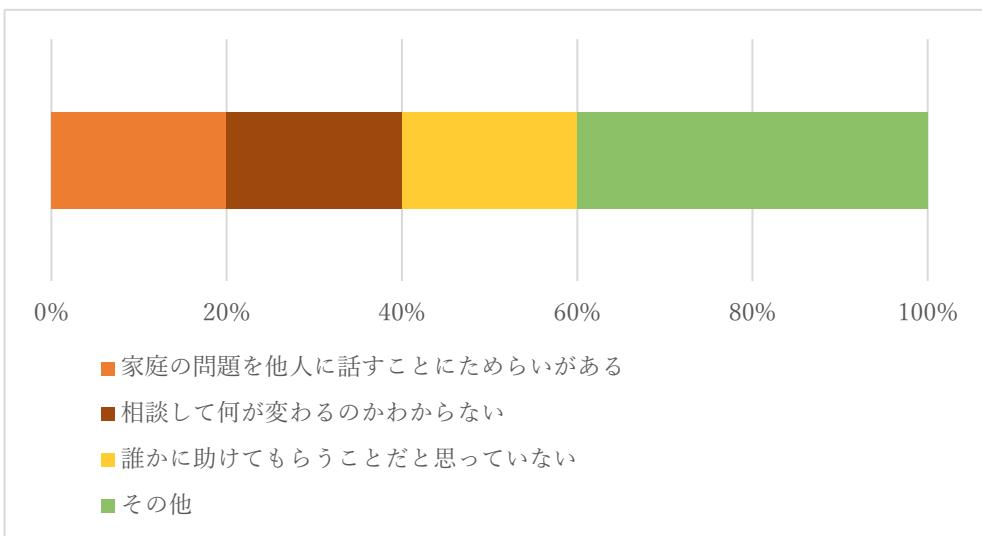
(9) お世話していることについて、相談したいですか。

相談したい	0
相談したくない	5



(10) 相談したくない理由を教えてください。(複数回答)

家庭の問題を他人に話すことにためらいがある	1
家族が悪く言われるのではないかと心配	0
子どもが手伝うのはあたり前だと思う	0
相談して何が変わるのかわからない	1
学校や周囲に知られたくない	0
相談しても理解されなかつた経験がある	0
「どうせ無理」とあきらめている	0
誰かに助けてもらうことだと思っていない	1
その他	2



(11) 他に伝えたいことがあれば書いてください。(自由記述)

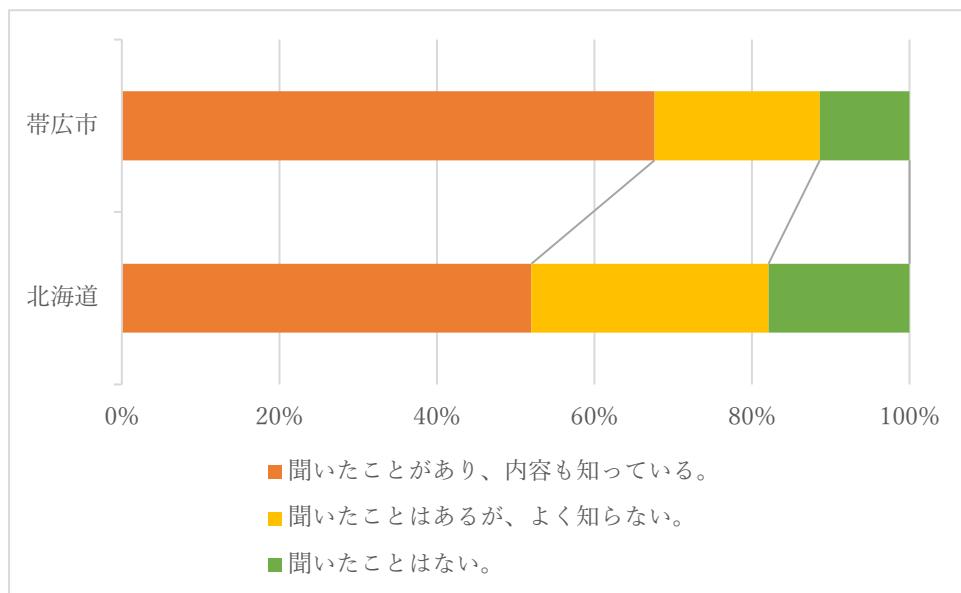
「自分は下の子の面倒をみてるだけですので安心してください！」

3 まとめ

1 ヤングケアラーの認知度

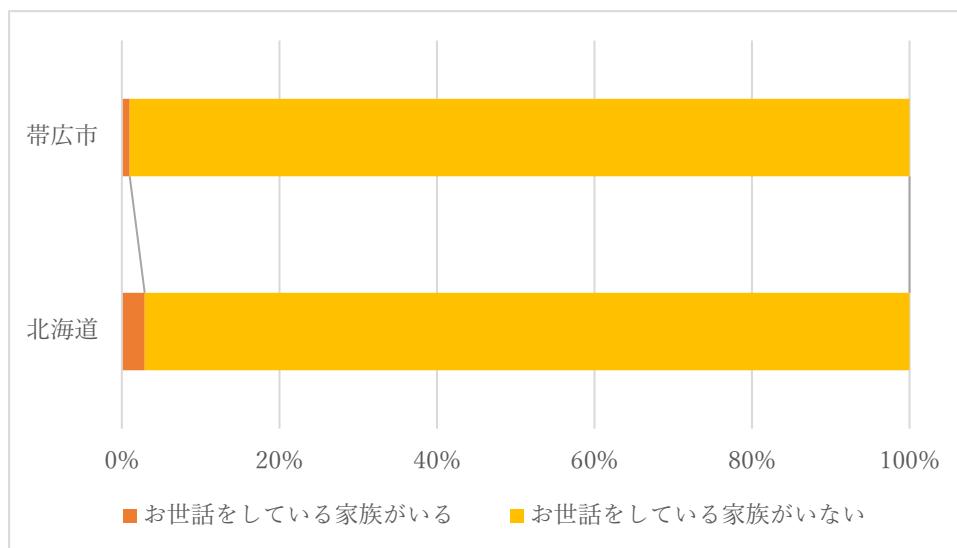
令和5年3月に策定された『北海道ケアラー支援推進計画』では、ヤングケアラーに関する児童生徒の認知度を50%以上とすることを目標としていた。令和7年度に北海道が実施した『北海道ヤングケアラーに関する実態調査（以下『全道調査』という。）』では「聞いたことがあり、内容も知っている。」が52.0%、「聞いたことはあるが、よく知らない。」が30.1%、「聞いたことはない。」は17.9%となっている。

本市の状況としては「聞いたことがあり、内容も知っている。」が67.7%、「聞いたことはあるが、よく知らない。」が21.0%、「聞いたことはない。」は11.4%となっており、当該計画の目標値を上回る結果となっている。



2 家庭において家族の介護や世話、家事等を日常的に行っている子どもの実態

家族のお世話をしていると回答した子どもは、全道調査では 2.9%であるのに対し、本市では 1.0%となっており、家族のお世話をしている割合が低いという結果であった。



3 家族の世話の状況

子どもが世話をしている家族は「父母」が最も多く、次いで「きょうだい」となっている。世話の内容は「食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物などの家事」が最も多い。

家族の世話をしている心情については「身体的につらい」「精神的につらい」との回答は無く「やりがいを感じている」「特に何も感じていない」など肯定的な回答が多くみられた。

4 個別相談・支援を希望する回答の状況

本調査では、相談を希望する旨の回答はなかった。

5 今後の対応について

本調査を通じ、ヤングケアラーに関する児童生徒などの認知度については、一定程度浸透してきていることが確認出来た一方で、相談を希望するとの回答はなく、個別相談や具体的な支援につながる事例はなかった。調査結果において世話をしていることを前向きに捉えている回答が見られるなど、現時点では支援の必要性を自覚していない可能性も想定される。

今後とも、困りごととして認識されにくい負担について、ヤングケアラー自身に気づきを与えるような周知啓発活動を強化するなど、必要な時に必要な支援につなげられる取り組みを進めていく。

また、潜在的なヤングケアラーを発見するため、帯広市の相談窓口以外にも、十勝こども家庭支援センターの電話相談窓口や、ヤンサポ（北海道ヤングケアラー相談サポートセンター）のSNS相談窓口を紹介するなど、自分に合った方法で相談できることの周知や、子どもの日常的な変化に気づきやすい学校との連携をより一層強化し、家庭に対する早期の支援に繋げていく。